



司馬遼太郎「坂の上の雲」(NHK ドラマ)を見て

補給の必要性

日露戦争では、食料弾薬などの補給がしつかりしていたようだ。太平洋戦争のニューギニアやビルマ戦線の『餓え』がドラマにはなかった。日露戦争後の日本軍は補給の必要性を忘れたらしい。

技術が戦局を支配

旅順要塞攻略には、二八センチ榴弾砲という巨砲を運び、坑道を掘りトーチカを爆破した。「正に優秀な兵器技術が戦局を支配する」しかし、それは忘れられ、人命を失っただけの鉄条網と機関銃を備えた旅順要塞への乃木軍の突撃が神話として受け継がれた。

日本海海戦

秋山実之のT字戦法

が本当の勝因か？

ロシアの側から描いた本「バルチック艦隊の潰滅」(ノビコフ・プーリボイ著)によると、日本の砲弾は当たるとすぐ炸裂、構造物を破壊し、兵員を殺傷。ロシア艦は上部構造を破壊され速やかに戦闘能力を失った。それで、沈まなくても、降伏。

方、ロシアの砲弾は、日本艦に当たってもすぐには炸裂せず、貫通。成果を上げられなかった。

敵より優れた技術が勝利に導く。しかし、技術は日進月歩。この当時の巨砲は時代遅れ、飛行機の時代になったのに、戦艦大和を造るなど、技術の進歩を忘れていったのが日本軍であり、破滅の太平洋戦争に導いたのだと思う。

皆さんはどう思われますか？

長者橋 (横浜市中区 日ノ出町)



大岡川は横浜の西南部、円海山に源を発し、北東に流れ、この長者橋に至る。川は桜木町を経て横浜港に注ぐ。

この橋の左に京浜急行日ノ出町駅がある。右に行けば伊勢佐木町だ。

この大岡川の上流には捺染工場が沢山ある。四十年前前は、この大岡川で染めた布を晒していた。その為、この辺りの水は大変汚れていて、水が緑になったり、紫になったりしていた。しかし、下水道の普及で、今では底が見える位、きれいになった。四月には「大岡川プロムナード」として、桜がライトアップされる。

横浜港を目指すのか、寒風をつけて、十数艘のカヤックが声を掛けながら進んできた。

来週はお休みします